学校番号	3035

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」（帝国書院）　詳解現代地図（二宮書店）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE2026」（帝国書院） ｳｨﾆﾝｸﾞｺﾝﾊﾟｽ地理の整理と演習 2026（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的観点から問題の認識や解決方法を導けるように地理的な知識や技能を培う。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・世界の広さと狭さ、個別性と類似性を感じる。
・空間軸と時間軸の両方から現代世界の諸地域の特色を考察する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
資料や統計データ等に親しみ、現代世界の地理的認識を養うとともに地理的な知識や技能を培う。
【思考力、判断、表現力等】
現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察、判断し、表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
国際社会の地理的課題について、主体的に関わりながら解決に取り組む態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理的諸事象や地域性、現代的諸課題の分析・考察に必要とされる基礎的知識（用語・地名など）や基本的概念（空間・環境・地域）を身につけている。また、地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本概念、地理的見方・考え方を身につける	地図化された事象を他の地理的諸事象との関わりから分析・考察解釈し、地理的概念や規則性を見出すことが出来る。また、そこから現代世界の諸課題を見つけることが出来る。そして、その課題の背景・要因・解決策を多方面から追求し、よりよい社会のあり方を環境・人権・平和の観点から提言することが出来る。	地理的諸事象、現代的諸課題に興味・関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることが出来る。また、地理学習で得た知識・技能・態度を現代的諸課題の解決に生かすことが出来る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名		学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1部　地図でとらえる現代世界	第1章　地図と地理情報システム	1節　地図上の位置と時差	a:日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に,地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について,地図や地理情報システムなどを用いて,その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的･基本的な技能を身に付けている。 b:地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:地図や地理情報システムについて,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 授業内課題 小テスト	定期考査 授業内課題 授業プリント	授業プリント 授業内課題 振り返りシート
			2節　地図の役割と種類				
		第2章　結び付きを深める現代世界	1節　現代世界の国家と領域	a:現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域,国内や国家間の結び付きについて理解している。 b:現代世界の地域構成について,位置や範囲などに着目して,主題を設定し,世界的視野から見た日本の位置,国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代世界の地域構成について,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			
			2節　グローバル化する世界				

	第2部　国際理解と国際協力	第1章　生活文化の多様性と国際理解	1節　世界の地形と人々の生活 2節　世界の気候と人々の生活 3節　世界の言語・宗教と人々の生活 4節　歴史的背景と人々の生活 5節　世界の産業と人々の生活	a：世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b：世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			
後期		第2章　地球的課題と国際協力	1節　複雑に絡み合う地球的課題 2節　地球環境問題 3節　資源・エネルギー問題	a：世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b：世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づ	定期考査 授業内課題 小テスト	定期考査 授業内課題 授業プリント	授業プリント 授業内課題 振り返りシート

			4節　人口問題	くりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			
			5節　食料問題				
			6節　都市・居住問題				
	第3部　持続可能な地域づくりと私たち	第1章　自然環境と防災	1節　日本の自然環境	a：我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b：地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			
			2節　地震・津波と防災				
			3節　火山災害と防災				
			4節　気象災害と防災				
			5節　自然災害への備え				

		第2章　生活圏の調査と地域の展望	1節　生活圏の調査と地域の展望	a:生活圏の調査を基に,地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b:生活圏の地理的な課題について,生活圏内や生活圏外との結び付き,地域の成り立ちや変容,持続可能な地域づくりなどに着目して,主題を設定し,課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察,構想し,表現している。 c:生活圏の調査と地域の展望について,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究,解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度